

指定討論：企業主導型保育における 保育の質向上に向けた研修の取組

秋田喜代美（学習院大学） 2022/1/25

3 回目の共同研究シンポジウム

1

•2019 実態調査

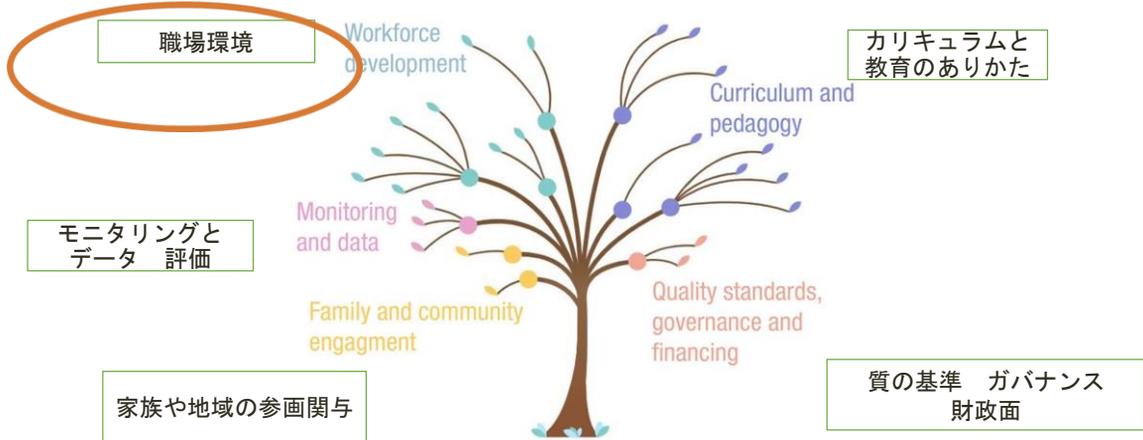
2

•2020 よさや課題とコロナ禍での変化

3

•2021 研修とその効果検証

保育の質向上の鍵の一つは保育者の研修 (OECD,SSVI 2021.6)



出典：令和3年6月OECD Starting Strong VI launch Slide 1秋田訳

企業主導型保育での研修受講の二重の困難：施設長ヒアリング**今回の研修**

どの園にも共有の困難

- 時間の確保
- 職員の配置・人数確保の課題

**いつでもすき間
時間に可能**

企業主導型保育固有の困難

- 受講したい内容が見つからない、新設園、子供の移動。
- 認可外や企業主導型は対象外が多い。人数制限。

**企業主導型に特化した
ニーズに応じた内容**

今回の調査の特徴

- 時間系列での調査 コロナ禍
 - 聞き取りとweb調査で深掘りと広がり
- 
- 実際の動画の改善に生かしていく
ニーズにさらに寄り添う

本調査結果や発表から私たちが考えたい 保育者、職員の学びに関する問い

- 1 初歩的な内容、理論的な内容よりも、困り感、実践的な内容とは、具体的にどういう研修内容にすることなのか？
- 2 すぐに役立つことだけで、研修はよいだろうか。ニーズにこたえることと次への見通しを持つことの提示のバランスが必要では？。
保育の面白さ、問い、自ら学び続ける保育者のためには？
- 3 研修に参加すれば、保育の質が良くなる、実践に生かされるという考えを超えるためには具体的に何を検討していく必要があるだろうか？ <保育者や教師の学び研究の知見から>

研修が質の向上につながるための 3つのつながりとアンカー（投錨）

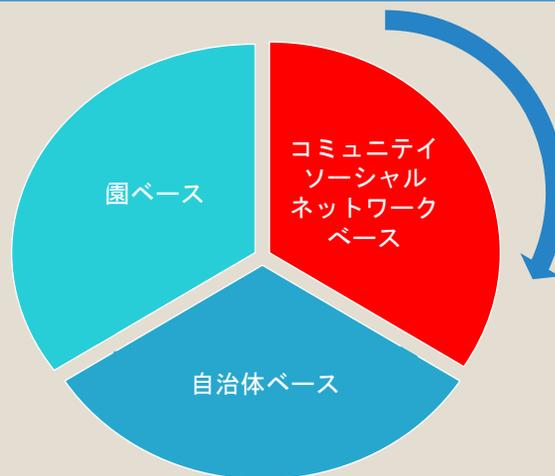
園外受講参画 受講前 受講時 受講後
他者との対話 自己内対話

実践化 環境、関わり、カリキュラムを変える
試みの時間 財源

振り返りとアウトプット・アウトカムの確認
次のサイクルへの持続 園内での共有

研修の構成（連続・単発）、受講動機（選択の有無）、内容の構成*保育者・園の構成

保育者の資質向上のための研修 組織体制 園内研修含め3つの往還





JSPS科学研究費（基盤研究A）課題番号 16H02063「保育者の学習過程を支える園内研修とリーダーシップの検討」（代表 秋田喜代美）より

秋田喜代美（学習院大学） 故 小田豊（関西国際大学） 芦田宏（元・兵庫県立大学） 門田理世（西南学院大学） 鈴木正敏（兵庫教育大学） 中坪史典（広島大学） 上田敏丈（名古屋市立大学） 野口隆子（東京家政大学） 箕輪潤子（武蔵野大学） 森暢子（九州産業大学） 淀川裕美（東京大学） 椋田善之（関西国際大学）

以下のスライドはこの冊子からのものです。

園内研修における一人ひとりの学び

継続的な「園内研修で学んだこと」の自由記述「園内研修から得た学び」を分析し、「知る・わかる」「気づく」「考える・見つける」の3つに分類したものを図に位置づけました。

知る・わかる

1. 他の人が発言した内容をそのまま知識として得た・理解した

例) 子どもたちが調べられるよう図鑑を出せばいいのだとわかった。

2. 自分なりにどのようなことかを考えた、気づいた

例) 図鑑により、興味が広がったり見つけたい思いが生まれると気づいた。

3. 自分なりに考えた上で、課題や次にやってみたいことを見つけた

例) 図鑑はこれまで子どもが手に取れる場所になかった。様々な植物に興味を持てるよう、自分たちで調べるといった経験ができる環境を作ろうと思った。

気づく

考える・見つける

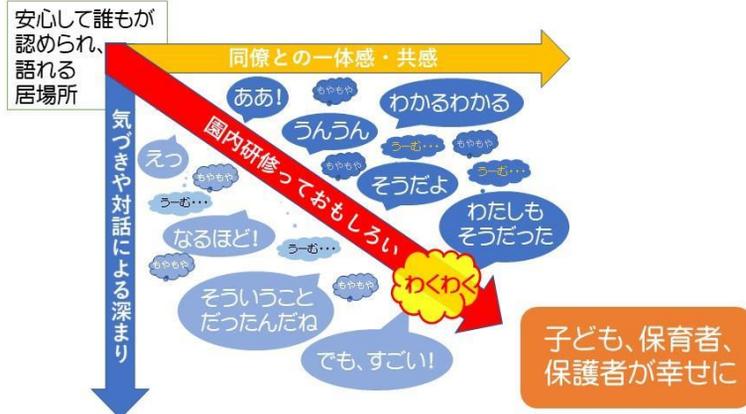
オンライン動画研修の場合は、1から2, 3にいくためには、いくつかの条件があるのかもしれない

研修の学びがおもしろいとなるための2つの軸

園内研修の場合 VS ユニバーサルオンライン動画の場合 安心の保障。
視聴あるいは視聴後 共感の共有がむずかしい。自分事になりにくい

学びのプロセスから考える研修での【関わりのプロセス】【学びの環境】【学びのための対象やツール】に視点を当てて

毎回の研修で大事にしたい工夫、短期的視点

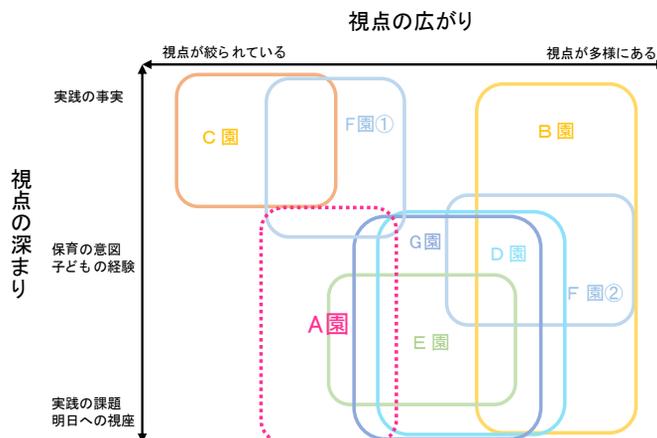


園内研修に参加した保育者の記述からの分析

園内研修『視点の広がりと深まり』モデル

視点が多様になる園内研修・視点が深まる園内研修

以下の図は、研修での「心に残った発言」「研修を深めた発言」について、保育者がどのような視点を持っていたのか、その広がりや深まりについて、園内研修ごとの傾向を示したものです。



対話の中での保育者一人ひとりの学びの様相

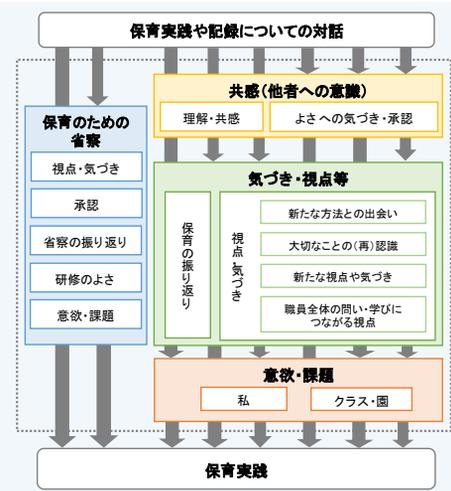
園内研修で、参加者はどのような経験をしているのでしょうか

心に残った発言・研修を活発にした発言・学んだことは何ですか？

園内研修に参加した先生方に、その日に参加した園内研修で

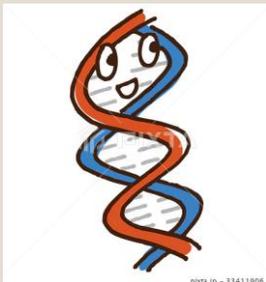
- ①心に残った発言
- ②研修を活発にした・深めた発言
- ③学んだこと

を自由記述形式で書いていただき、集まった回答をもとにカテゴリーを作って整理したところ、右の図のような感情や思考の構造があることが見えてきた。



保育士の実践知とその学び

企業主導型 未満児中心 園児の特徴としての一時保育や転園の多さ
見えにくいことをみる 語りにくいことを意識するための知

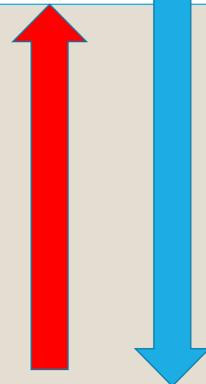


コアの背景となる概念・理論や
哲学

言語化 命題化 一般化
語りによって豊かにする 情動 身
体的な言葉

スキル 動くことができる

具体例 文脈付き
写真・動画 イメージ



登壇者への質問

- 各研修動画の内容で一番印象に残った部分はどこだったのだろうか？
 考え方、行動、留意・配慮点
 それは保育者の関心や企業主導型経験によってどのようにちがったのだろうか？
 園内研修とのつながりをどう考えるか。往還、つながり

私の個人的経験

保育者は事例から学ぶ、その事例をいかに選ぶかに研修参加者の関心が影響する。
 一つで深くか、さまざまな園の具体例を連射提示するかは、研修時間による。

フォローとしての参加者自身の自分での言語化の必要性

研修は受けるものから、「自ら選ぶ、創り出す、生かすもの」という発想へ
 振り返る言葉を振り返ることも大切。



参加者の皆様にもうかがってみたいこと

1. 限られた時間の中で15分の研修時間の捻出のために
 どのような工夫がありえるでしょうか。

2. ワークライフバランスを保ちながら、楽しく学ぶため
 には、この研修動画をどのように活用していきたいで
 しょうか。

園内動画や写真ではなく専門家が作るからこそリクエスト
 したいこととは？